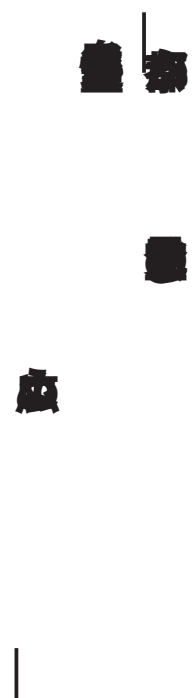


みどりの ニュースレター

21世紀 地球を、地域を、生活を、
持続可能な豊かさに

2
2006
No.153

特集：『だいすき京都 環境市民の 遊びかた 暮らしかた』 ついに発行！



←本の完成を喜ぶ作成スタッフ。

京都議定書発効一年に際して

京都議定書達成には、
日本の社会システムの根源的変革が不可欠

環境市民 代表理事/ 枚本 育生

地球温暖化防止と環境経済戦略

環境市民理事/ 京都大学大学院経済学研究科及び地球環境学堂教授/ 植田 和弘



特定非営利活動法人

環境市民

Citizens Environmental Foundation - since 1992 -
<http://www.kankyoshimin.org>

¥100

みどりの ニュースレター



No.153

2006年 2月号

Citizens Environmental Foundation



今月の表紙……

発行した「だいすき京都 環境市民の遊びかた 暮らしかた」と作成チームのみなさん。

コレため! コレ、ためしてみました。

毎月エコロジカルなライフスタイル・グッズをスタッフが体をはって実践レポートします!

コレため! File no.8

湯たんぽで過ごそ、冬
の夜

文/ニュースレター編集部
山形 七日



近年、湯たんぽ人気が復活しているようですね。私は、プラスチック湯たんぽは持っていますが、朝までにはすっかり冷めてしまうお粗末さ。電気毛布は全身が温まる利点はあるのですが、汗はかくし、電気代は使うし、電磁波を浴びて寝ることになります。そこで試しました、国内シェアの6割を占めるという尼崎の某老舗の金物製湯たんぽ。意外に軽くて、振ってみると蓋の把手がカタカタというのが味!

ヤカンに湯を沸かし(石油ストーブで沸かせばなお良し)、こぼさないように漏斗じょうろうを使って湯を注ぎ、カバーで覆い、床に入る30分程前に布団の足元に入れておきます。これだけの事ですが、スイッチ一つで済む電化製品と違い、毎晩湯を沸かす手間や、熱湯に注意して作業を行う慎重さが必要です。これが正直面倒……昔の人は毎晩いと厭わずやっていたんですね。時間と気持ちのゆとりがあったんだなあ……。

さて期待していざ寝床に飛び込むと「ポワァ〜」とした温かさが足からひろがる! 湯たんぽの上に膝を載せノビノビと全身のぼしてお休みなさい! 夜中に目が覚めても湯たんぽがあると「幸せ〜!」と安心して、また丸まって寝てしまいます。そしてさすがの逸品は、朝になってもまだ暖かい! 更にエコに徹したければ残り湯を洗顔や洗濯に使うのも良いでしょう。

ちなみに湯たんぽを漢字で書くと「湯湯婆ゆたんぽ」。「湯婆」は中国語で「お母さんのあったかさ」という意味です。アニメの「千と千尋の神隠し」に出てくるお婆さんは「湯婆婆ゆばあば」。

CONTENTS

コレため!

湯たんぽで過ごそ、冬の夜

…02

特集:『だいすき京都 環境市民の遊びかた 暮らしかた』ついに発行!

— 京都からまちの宝を発見!

豊かで快適なエコライフを広めよう!—

…03-05

京都議定書発効一年に際して

京都議定書達成には、

日本の社会システムの根絶的変革が不可欠 …06

環境市民 代表理事 梶本 育生

地球温暖化防止と環境経済戦略 …07

環境市民理事 / 京都大学大学院経済学研究所及び地球環境学学堂教授
植田 和弘

とれたて! 環境市民 スペシャル! …08-09

イベントカレンダー

旬のぶちメモ

講演のご案内

みんなでエコろう! 行事案内 …10-11

地球のなかま …12

第8回 私たちの周りの身近な菌たち

隔月コラム **ミュンスター便り** …13

vol.4 温暖化防止の軸 省エネ建築物の促進

みんな集まれ! わいわいひろば …14

2月のテーマ: あなたのまちのお雑煮

1/ 環境市民 …15

環境市民の会員を紹介するページです。

今月のありがとう …16

新入会員インタビュー・新入会員・寄付他

特集：『だいすき京都 環境市民の 遊びかた 暮らしかた』 ついに発行！ — 京都からまちの宝を発見！ 豊かで快適なエコライフを広めよう！ —



発行所 : NPO 法人環境市民
頁数 : 全 188 ページ / サイズ A5 版
ISBN : 4-9902874-0-1
価格 : 1,200 円 (税込み)

『だいすき京都 環境市民の遊びかた 暮らしかた』が、ついに 2006 年 1 月出版されました。京都で発足し、このまちで活動してきた環境市民が、「まちの本当の魅力を知ってもらい、まちをもっとよくしたい」「豊かで快適なエコライフを広めたい」という思いでつくったガイドブックです。

文／環境市民事務局長 堀 孝弘
取材協力／環境市民事務局スタッフ・作成コーディネート 内田 香奈

●星の数ほどある「京都ガイド」と、この本はちがう

暮らしの知恵、本物のものづくりや商売、景観やまちなみなど、長い歴史をもつ京都は、素晴らしい文化や伝統をもっています。ただし、これら京都のよさが年々少なくなっているのも事実です。京都の観光ガイドブックは、星の数ほど出ていますが、これまでの京都のガイドブックの多くは、数少なくなった「京都のまちのいいところ」を紹介するだけでとどまっていたと思います。私たちは、京都のまちのいいところを「より発展させたい」「がんばっている人たちを応援したい」「人と人をつなぎたい」、そのような思いを込めて、この「だいすき京都 環境市民の遊びかた 暮らしかた」をつくりました。

●このガイドをつくることになったきっかけ

すこし時計の針を戻して、1997 年京都で「気候変動枠組条約第 3 回締約国会議 (COP3)」が開催されました。ここで、京都議定書が採択され、温暖化防止に向けた活動が社会の要請となりました。環境市民もさまざまな活動に取り組んでいますが、そのひとつとして『グリーンコンシューマーガイド 1999 京都』の出版があります。この本はスーパーの環境の取り組みを促進し、商品の選択時に環境を意識する「グリーンコンシューマー」の考えを広めることを目的としてつくられ、京都市内の全スーパー・生協の環境対策や環境を大切に商品品の品揃えなどを調べ、評価・ランキングをして発表しました。

この本の第 3 章で、個人商店の取り組みを紹介しました。京都市近辺には、酒のはかり売りや、天然木にこだわった家具店、木のおもちゃの専門店などおもしろい店が多くあります。また、取材を通じて、それらの経営者から、ものづくりや商いの深い考えを聞くこともできました。

この章の作成がずい分おもしろくて、この本は「スーパーではなく、がんばっている個人の店を応援したい。次回地域のガイドブックを作成するとしたら、この第 3 章を発展させたものをつくりたい」との考えが生まれ、これが「だいすき京都 環境市民の遊びかた 暮らしかた」を作成する動機になりました。

作成をはじめたのは 2001 年。当初、簡単に考えていましたが、さすがに京都は奥が深い。特に京都の長い歴史が育んだ「旬の暮らし」を現代に活かそうと試みたところ、その奥の深さに本としてまとめるのにずい分と時間を要しました。しかし、時間がかかった分、自信のもてる中身になりました。

本の構成の紹介

第 1 章 旬の暮らし

京都で生み出され、受け継がれてきた暮らしの知恵のなかには、ほんの少しアレンジを加えただけで、現代の暮らしに、とても魅力的に活用できるものがたくさんあります。季節を感じる行事の案内、やってみたくなるエコな暮らしの提案、京都の日常生活の中にある魅力を月ごとに紹介しています。

第 2 章 京のお店

京都には、ほんものものづくりや売り方など、次の世代に残したいものもたくさんあります。私たちが望む豊かな暮らし方に「ほんもの」を提供してくれるお店を京都で探しました。お店や商品を見るポイントも合わせて紹介していますので、その視点を用いれば他の地域でのほんもののお店探しにも役立ちます。

第 3 章 市民の力は、地域を、社会を変える

私たちの暮らしと環境問題には深い関わりがあります。その関わりについての考え方や視点のもち方を、京都で実際に取り組んでいる NGO や市民による先進的な取り組みも交えて、紹介しています。市民の力が地域、社会を創り上げていく力を感じてください。



環境を大切にしたい 暮らしのイメージを変えたい

環境団体がつくったガイドブックとなると、「なにやらお説教くさいことがたくさん書いてあるのでは……」、と思う人があるかもしれません。いえいえ、そうではありません。本当に豊かな暮らしと、環境を大切にしたい暮らしが一致することを紹介しています。

このまちは、夏はとことん暑く、冬も底冷えがひどく、決して住みやすいところではありません。それだけに少しでも快適にすごすため、多くの暮らしの知恵が生み出され、受け継がれてきました。それらのなかには、少しアレンジを加えると、現代の暮らしに、とても魅力的に活用できるものが多くあります。第1章の「旬の暮らし」では、お金やエネルギーを使わなくても豊かに暮らすアイデアを数多く紹介しています。この本を読まれた人の「環境を大切にしたい暮らし」のイメージは、きっと大きく変わることでしょう。

●「だいすき京都 環境市民の暮らしかた 遊びかた」より抜粋 (111頁) →



ほんとうにいいものを残したい、 発展させたい

ほんものものづくりや、売り方など、次の世代に残したいものもいっぱいあります。京都は漬物、和菓子などが有名で、食品添加物を使わず伝統的な作り方を守っている店もあります。原料も国産にこだわり、機械を導入せずに手作りしている和菓子店もあります。

ところが「老舗」のなかには、添加物が多く入った商品売っているところもあります。多くの「観光ガイド」は、そういった店の商品も「老舗の味」として紹介しています。それでは京都のイメージは下がっていくばかり。いずれ取り返しのつかないことになります。この本では、自分たちが利用したい「いいもの」、このまちに残り発展してほしい「ものづくり」を選んで紹介しています*。

●「だいすき京都 環境市民の暮らしかた 遊びかた」より抜粋 (95頁) →

※掲載した以外に「ほんもの」がないわけではありません。今回探さなかった宝物をこれからも探していきます。

環境市民の暮らしかた 遊びかた

000円九〇×一七〇センチ

環境市民の暮らしかた 遊びかた

七〇センチメートル ほどで買う

京都の冬の味覚のひとつである千枚漬。いろいろな漬物屋さんで独自につくり販売しています。じっくり表示を見てみると、添加物が記されているものもけっこうあり、食べ比べてみるとこれまた味にも大きく違いがありました。

「千枚漬食べ比べ班」で軍配があがったのは村上重や近浦。みなさんなら、どの千枚漬を選ばれますか？

<table border="1"> <tr><td>名 称</td><td>塩漬 (薄切り)</td></tr> <tr><td>原材料名</td><td>聖護院かぶら・昆布・とうがらし・漬け原材料【食塩・醸造酢・砂糖・果糖・みりん・酒粕・コンブエキス・ドレッシング・調味料(アミノ酸等)・酸味料】</td></tr> <tr><td>原料原産地名</td><td>国産</td></tr> <tr><td>内 容 量</td><td>枠外に表示 賞味期限 枠外に表示</td></tr> <tr><td>保存方法</td><td>10℃以下で保存の上お早め召し上がり下さい。</td></tr> <tr><td>製 造 者</td><td>株式会社 土井志は 濱本舗 〒601-1251 京都市左京区八瀬花尻町41 電話番号 075-744-2311</td></tr> </table>	名 称	塩漬 (薄切り)	原材料名	聖護院かぶら・昆布・とうがらし・漬け原材料【食塩・醸造酢・砂糖・果糖・みりん・酒粕・コンブエキス・ドレッシング・調味料(アミノ酸等)・酸味料】	原料原産地名	国産	内 容 量	枠外に表示 賞味期限 枠外に表示	保存方法	10℃以下で保存の上お早め召し上がり下さい。	製 造 者	株式会社 土井志は 濱本舗 〒601-1251 京都市左京区八瀬花尻町41 電話番号 075-744-2311	<table border="1"> <tr><td>名 称</td><td>塩 漬</td></tr> <tr><td>原材料名</td><td>聖護院かぶら・昆布・唐辛子・漬け原材料【食塩・醸造酢・みりん・砂糖・糖、異性化液糖】、調味料(アミノ酸等) (原材料の一部に大豆、小麦を含む)</td></tr> <tr><td>原料原産地名</td><td>国内産</td></tr> <tr><td>内 容 量</td><td>120g</td></tr> <tr><td>賞味期限</td><td>枠外記載</td></tr> <tr><td>保存方法</td><td>10℃以下で保存</td></tr> <tr><td>製 造 者</td><td>株式会社 荃屋 京都市南区八条内田町34番地 TEL 075-691-2122 FAX 075-691-3663</td></tr> </table>	名 称	塩 漬	原材料名	聖護院かぶら・昆布・唐辛子・漬け原材料【食塩・醸造酢・みりん・砂糖・糖、異性化液糖】、調味料(アミノ酸等) (原材料の一部に大豆、小麦を含む)	原料原産地名	国内産	内 容 量	120g	賞味期限	枠外記載	保存方法	10℃以下で保存	製 造 者	株式会社 荃屋 京都市南区八条内田町34番地 TEL 075-691-2122 FAX 075-691-3663		
名 称	塩漬 (薄切り)																												
原材料名	聖護院かぶら・昆布・とうがらし・漬け原材料【食塩・醸造酢・砂糖・果糖・みりん・酒粕・コンブエキス・ドレッシング・調味料(アミノ酸等)・酸味料】																												
原料原産地名	国産																												
内 容 量	枠外に表示 賞味期限 枠外に表示																												
保存方法	10℃以下で保存の上お早め召し上がり下さい。																												
製 造 者	株式会社 土井志は 濱本舗 〒601-1251 京都市左京区八瀬花尻町41 電話番号 075-744-2311																												
名 称	塩 漬																												
原材料名	聖護院かぶら・昆布・唐辛子・漬け原材料【食塩・醸造酢・みりん・砂糖・糖、異性化液糖】、調味料(アミノ酸等) (原材料の一部に大豆、小麦を含む)																												
原料原産地名	国内産																												
内 容 量	120g																												
賞味期限	枠外記載																												
保存方法	10℃以下で保存																												
製 造 者	株式会社 荃屋 京都市南区八条内田町34番地 TEL 075-691-2122 FAX 075-691-3663																												
<table border="1"> <tr><td>名 称</td><td>塩 漬</td></tr> <tr><td>原料原産国</td><td>国 産</td></tr> <tr><td>原材料名</td><td>かぶ、昆布、塩</td></tr> <tr><td>保存方法</td><td>要冷蔵(5℃~10℃にて保存してください)</td></tr> <tr><td>製 造 者</td><td>(株)村上重本店 京都市下京区西木堀町四條下る船頭町190 TEL (075)351-1737</td></tr> <tr><td>賞味期限</td><td>別 記</td></tr> </table>	名 称	塩 漬	原料原産国	国 産	原材料名	かぶ、昆布、塩	保存方法	要冷蔵(5℃~10℃にて保存してください)	製 造 者	(株)村上重本店 京都市下京区西木堀町四條下る船頭町190 TEL (075)351-1737	賞味期限	別 記	<table border="1"> <tr><td>品 名</td><td>酢漬 (薄切り)</td></tr> <tr><td>原材料名</td><td>聖護院かぶら・昆布・漬け原材料【醸造酢・食塩・砂糖】、調味料(アミノ酸等)、酸化防止剤(V.C.)、ミョウバン</td></tr> <tr><td>原料原産地名</td><td>国産</td></tr> <tr><td>内 容 量</td><td>上部に記載 賞味期限 上部に記載</td></tr> <tr><td>保存方法</td><td>0℃~10℃で保存して下さい。</td></tr> <tr><td>製 造 者</td><td>株式会社 川勝總本家 京都市下京区大宮通五條上る上五條町394番地 〒600-8377 電話075(841)0131</td></tr> </table>	品 名	酢漬 (薄切り)	原材料名	聖護院かぶら・昆布・漬け原材料【醸造酢・食塩・砂糖】、調味料(アミノ酸等)、酸化防止剤(V.C.)、ミョウバン	原料原産地名	国産	内 容 量	上部に記載 賞味期限 上部に記載	保存方法	0℃~10℃で保存して下さい。	製 造 者	株式会社 川勝總本家 京都市下京区大宮通五條上る上五條町394番地 〒600-8377 電話075(841)0131				
名 称	塩 漬																												
原料原産国	国 産																												
原材料名	かぶ、昆布、塩																												
保存方法	要冷蔵(5℃~10℃にて保存してください)																												
製 造 者	(株)村上重本店 京都市下京区西木堀町四條下る船頭町190 TEL (075)351-1737																												
賞味期限	別 記																												
品 名	酢漬 (薄切り)																												
原材料名	聖護院かぶら・昆布・漬け原材料【醸造酢・食塩・砂糖】、調味料(アミノ酸等)、酸化防止剤(V.C.)、ミョウバン																												
原料原産地名	国産																												
内 容 量	上部に記載 賞味期限 上部に記載																												
保存方法	0℃~10℃で保存して下さい。																												
製 造 者	株式会社 川勝總本家 京都市下京区大宮通五條上る上五條町394番地 〒600-8377 電話075(841)0131																												
<table border="1"> <tr><td>名 称</td><td>酢漬 (薄切り)</td></tr> <tr><td>原材料名</td><td>聖護院かぶら・昆布・漬け原材料【醸造酢・砂糖・みりん・食塩・昆布だし・発酵調味料】 (原材料の一部に小麦を含む)</td></tr> <tr><td>原料原産地名</td><td>国内産(聖護院かぶら・昆布)</td></tr> <tr><td>賞味期限</td><td>上部に記載 内 容 量 上部に記載</td></tr> <tr><td>保存方法</td><td>10℃から5℃で保存してください。開封後は、お早め召し上がりください。</td></tr> <tr><td>製 造 者 及 び 製造所所在地</td><td>株式会社 大塚 (だいやす) M 京都市左京区岡崎南御所町45 (電)075-761-0281 (代)</td></tr> </table>	名 称	酢漬 (薄切り)	原材料名	聖護院かぶら・昆布・漬け原材料【醸造酢・砂糖・みりん・食塩・昆布だし・発酵調味料】 (原材料の一部に小麦を含む)	原料原産地名	国内産(聖護院かぶら・昆布)	賞味期限	上部に記載 内 容 量 上部に記載	保存方法	10℃から5℃で保存してください。開封後は、お早め召し上がりください。	製 造 者 及 び 製造所所在地	株式会社 大塚 (だいやす) M 京都市左京区岡崎南御所町45 (電)075-761-0281 (代)	<table border="1"> <tr><td>品 名</td><td>千 枚 漬</td></tr> <tr><td>原 材 料</td><td>聖護院かぶら・昆布・米酢・砂糖</td></tr> <tr><td>添 加 物</td><td>一切使用しておりません。</td></tr> <tr><td>内 容 量</td><td>100g</td></tr> <tr><td>製造年月日</td><td>別枠記載</td></tr> <tr><td>賞味期限</td><td>別枠記載</td></tr> <tr><td>保存方法</td><td>冷蔵の上、お早め召し上がり下さい。</td></tr> <tr><td>製 造 元</td><td>有限会社 総本家 近浦 京都市下京区六条通西洞院東入上若宮町94 TEL (075)351-1204</td></tr> </table>	品 名	千 枚 漬	原 材 料	聖護院かぶら・昆布・米酢・砂糖	添 加 物	一切使用しておりません。	内 容 量	100g	製造年月日	別枠記載	賞味期限	別枠記載	保存方法	冷蔵の上、お早め召し上がり下さい。	製 造 元	有限会社 総本家 近浦 京都市下京区六条通西洞院東入上若宮町94 TEL (075)351-1204
名 称	酢漬 (薄切り)																												
原材料名	聖護院かぶら・昆布・漬け原材料【醸造酢・砂糖・みりん・食塩・昆布だし・発酵調味料】 (原材料の一部に小麦を含む)																												
原料原産地名	国内産(聖護院かぶら・昆布)																												
賞味期限	上部に記載 内 容 量 上部に記載																												
保存方法	10℃から5℃で保存してください。開封後は、お早め召し上がりください。																												
製 造 者 及 び 製造所所在地	株式会社 大塚 (だいやす) M 京都市左京区岡崎南御所町45 (電)075-761-0281 (代)																												
品 名	千 枚 漬																												
原 材 料	聖護院かぶら・昆布・米酢・砂糖																												
添 加 物	一切使用しておりません。																												
内 容 量	100g																												
製造年月日	別枠記載																												
賞味期限	別枠記載																												
保存方法	冷蔵の上、お早め召し上がり下さい。																												
製 造 元	有限会社 総本家 近浦 京都市下京区六条通西洞院東入上若宮町94 TEL (075)351-1204																												



まちのもつエネルギーを伝えたい

また、このまちは、古いものばかりでなく、新しい息吹も数多く生み出してきました。日本最初の水力発電や電車の導入を持ち出すまでもなく、京都はハイテクのまちでもあります。質の高い伝統産業がハイテク産業のベースになりました。

芸術にしても若い息吹を大切にしてきました。なかには、妖しげなものもありますが、それもこのまちの魅力。京都にどのようなエネルギーが潜んでいるか、他の「観光ガイド」では紹介しきれない情報とも出会えることでしょう。



あなたのまちでも、 「まちの宝」を見つけよう

京都も、多くの地方都市と同じ問題を抱えています。まちの賑わいの取り戻し、自然や景観の保全、ごみ問題や交通渋滞……。この本で紹介している市民の取り組みは、他のまちの人たちにとっても、きっと参考になることでしょう。

どのまちにも、必ず地域の人たちが生み出し、大切にされてきた「宝」があります。暮らし方、ものづくり、景観、市民活動、その他もろもろ……。この本が、「まちの宝」の見つけ方の参考になり、多くの地域で、これと似たような本が作られることを願っています。自分たちの地域を、よくしていく主役は、そこに暮らす人たちですから。

購入方法／申込先

①環境市民京都事務局に申し込む

できるだけファックスやメールでのお申し込みをお願いいたします。書籍小包でお届けします（送料はご負担ください）。本に同封される郵便振替用紙を用いて郵便局から本代と送料を振り込んでください。

□申込み

環境市民京都事務局

電話：075-211-3521 FAX：075-211-3531

E-mail：life@kankyoshimin.org

□申込み用紙記入事項

氏名、送付先住所、郵便番号、電話番号、FAX番号、メールアドレス（あれば）、希望冊数

②書店で購入する・問い合わせる

書店での販売も予定しています。店頭がない場合は書店にてお尋ねください。3頁記載のISBNコードでお問い合わせいただけます。

第1回 京のほんものエコツアー



第1回京のほんものエコツアーで歴史も賑わいもある西陣のまちを歩く
(2005年7月28日実施)

第2回 京のほんものエコツアー



無添加国産素材にこだわる和菓子屋の仙太郎さんで実際に和菓子づくりを体験
(2005年8月29日実施)

株式会社村田製作所から 寄付をいただきました。

この『だいすき京都 環境市民の遊びかた 暮らしかた』の発行に際しては、株式会社村田製作所より多額の寄付をいただきました。「社会変革の活動に取り組む環境市民が、ますます活動力をつけることに役立てば嬉しい」という言葉もいただきました。この寄付は、本の印刷費として使用いたしました。この寄付を受けたことで、私たちはガイドブックの内容をより多くの人に伝え、環境負荷の少ない豊かな暮らしを広める活動（本の販売はもちろん、ガイドブックの内容を活かした市民向け行事の実施など）に力を注ぐことができます。あらためて寄付への感謝を申し上げます。

京都議定書達成には、日本の社会システムの根源的変革が不可欠

環境市民 代表理事/
 杵本 育生



日本が京都議定書で約束した温室効果ガス削減の達成がほぼ不可能になってしまっている。国民のライフスタイルが変わらないことがその主な要因の一つとして喧伝されている。確かにライフスタイルを変革することは重要であるが、日本が京都議定書の約束を果たせないほんとうの原因はそこにあるのではない。自転車を利用しようとしても、安全かつ便利に使える道路、街にはなっていない。再使用容器入りの飲料を買おうと思っても、ほとんどが使い捨て容器入りのものしか販売されていない。このように、多くの人々が難しくなくライフスタイルを変える社会的仕組みが欠如しているのである。

温室効果ガスを削減できない主な原因は日本の社会問題であり、次のようなことが考えられる。地球温暖化防止に限ったことではないが、日本の政策はビジョンと戦略を欠いていること。多くの施策が対症療法的なもので根源的なアプローチがないこと。企業の環境活動も、環境対応型商品の開発・販売や個別活動にとどまり社会システムを変えていく考えには至っていないこと（『青き星 碧い風』第二回（2005年9月号）第四回（2006年1月号）参照）。NGOがそのような政策決定や企業の社会的責任（CSR）活動に大きな影響力を発揮できない社会システムになっていること、などである。

それでは、なぜこのような社会になっているのか、いくつも要因が考えられるがここでは日本の政治システム、特に中央省庁の縦割り支配の問題を考えてみよう。環境省は、本来なら地球温暖化防止政策を統合し戦略化していく政策を実現する責務を負っているが、現実には機能していない。温室効果ガス急上昇の運輸部門は国土交通省、最大の排出元である産業部門は経済産業省の牙城であり、環境省はほとんど手をつけられない。だからこそ「こまめちゃん」や「クールビズ」といったような地域の自発的活動に任せた方がいいものが環境省の仕事になっている。

国交省や経産省なども、多少の温暖化防止施策を実施してはいるが、自らのテリトリーとする産業界の（長期的視野を欠いた）利益を損なうと恐れる施策は出てこない。これでは、エコカーの開発には勤しめても、ドイツなどの諸都市で実施されている公共交通や自転車を優先する交通システムや都市計画の切り替えといった抜本的な政策転換*は期待できない。

また、環境税も同様の理由でなかなか実現できない。

ドイツの環境税は、電力税、車両用燃料税、暖房用燃料税からなる。90年から98年の間に各々6%、11%増加した一般家庭、及び運輸のCO₂の削減を主な目的として当初4年間の時限的措置として導入された。経済界が歓迎していない状況は日本と同じであるが、2000年から2003年の4年間に579億ユーロ（約8兆1千億円）が環境税として集められた。その大きな使途として年金保険料率の低減が図られことにより、年金制度安定と6万人の新規雇用を生んだと考察されている。CO₂の削減にも、もちろん大きな効果を生んでいる。

環境税の一部は再生可能エネルギーの普及にも用いられ、太陽光発電装置の年間設置容量も、ダントツの1位であった日本を上回った。一方日本は、来年度から太陽光発電への政府（新エネ財団）補助を打ち切る。

持続可能な社会を築くために必要な、環境、経済、社会的公正の全てを良好にしていける必要があるという命題に対して、このように縦割り行政支配は対応できていないどころか、大きな弊害になっている。二大政党にその改革を期待するのは無理であろう。

では、どうすればいいのだろうか。ここで、かつての公害に対する自治体や住民の活動が、国の政策を大転換させたことを想起したい。私たちが実施している『日本の環境首都コンテスト』で明らかになってきているように、自治体の中には従来の縦割り行政の超克、住民参画のシステム化と保障、様々なユニークな施策を実施しているところがある。また家電製品の「省エネラベル協議会」のように協働の市民活動が急速に全国的展開をみせ、経産省の環境性ラベルに大きな影響を与えようとしているものもある。

このようなNGO、市民が参画し地域社会を変えていくことが、閉塞した日本社会システムを変革することにつながるのではないか。全ての自治体を変える必要はない。日本のいくつかの自治体・地域社会の変革に成功することが、大きな力を発揮するだろう。環境NGOはその変革の一つの担い手になりうるし、ならなければ存在価値が疑われる。

*路面電車のない人口規模の小さい自治体でも実施されている。その事例として例えば筆者が部分執筆した『世界の環境都市に行く』（岩波ジュニア新書）のエッカーンフェルデ市の取組みがある。

地球温暖化防止と 環境経済戦略



環境市民 理事/
京都大学大学院経済学研究科及び地球環境学堂教授
植田 和弘

地球温暖化防止のための京都議定書が2005年2月16日に発効した。

このことは、今後のわが国の地球温暖化防止戦略にとって重大な意味を持っている。2010年における温室効果ガス排出量を1990年レベルよりも6%削減する必要があるが、現状では7%以上増加しているため、かなり大幅な削減を急速に行うことが求められている。政府の京都議定書目標達成計画では、森林吸収源の整備や排出権クレジットの購入なども想定されているが、それでも日本国内の多くの地域で大幅な温室効果ガスの削減に取り組まなければならないことは確かである。ここであえて戦略という用語を用いたのは、地球温暖化防止は単に対策を講じれば達成できるというのではなく、ビジョンと具体的シナリオをもった戦略的思考なくしては、実現できないと考えるからである。

結論を一言でいえば、地球温暖化防止を単なる温室効果ガスの削減問題として取り組むことでは成功しない。交通政策やエネルギー政策とはもちろんのこと、産業政策、さらには地域経済の活性化とも結びつけて、地域づくりそのものとして統合的に取り組む戦略的思考が求められている。脱自動車の都市モデルとして有名なフライブルクの例もこの観点から見直してみるとその先駆性が一層よく理解できる。

フライブルクでは、自動車中心の交通体系から路面電車を核にした交通システムへの転換が図られた。都市の中心部は自動車の乗り入れが禁止されており、パーク・アンド・ライド方式なので郊外から車で来ても、途中で駐車し中心部へはすべて路面電車に乗り換えることになる。路面電車の利便性は高く、市民全体のモビリティは増大しているにもかかわらず、自動車利用は増えていない。

フライブルクの試みは過剰な自動車利用がもたらす交通渋滞や大気汚染を減らすという意味で交通政策、かつ環境政策である。しかしそれだけでなく高齢者福祉政策、そして商店街活性化策を統合した多面的価値を総合的に追求したまちづくりになっているところに特色があり、それが成功の秘訣でもある。低床式路面

電車はそのわかりやすさや乗降のしやすさからいっても高齢者の移動を容易にする福祉のまちづくりにふさわしい乗り物であり、その意味で福祉政策の一環でもある。

興味深いことは、路面電車中心の交通体系は商店街活性化策としても機能した点である。一般に、ヨーロッパの都市においては文化的な施設やそこで行われる文化的イベントなどが、まちの賑わいや交流の場にもなっている。自動車中心のまちづくりは、駐車場によって公共空間を減らし行動を個別化させることで、そういう社交の場、一種の公共文化を衰退させがちである。フライブルクでは脱自動車歩きやすいまちになったことで、人々が都心や商店街に滞留する時間が増加し、商店街の賑わいが回復するとともに売り上げも増えたのである。商店街の衰退に悩む日本の都市にとって示唆的である。

フライブルクにおける環境を基軸にすえた都市・地域づくりは、環境改善の投資を促し生活の質を向上させつつ、それに関連して雇用も増加させることになった。このような都市・地域づくりが可能になった背景の1つは、市民主体の環境運動が単なる運動だけにとどまるのではなく、課題の理論化や政策化が図られたことである。専門家の支援を受けつつ市民主体の研究所が設立されることにもなった。持続可能な地域社会づくりは市民の積極的な参加がなくてはならないが、そのために必要になる知識・情報基盤を行政が提供するだけでなく、市民自身の中からもつくりだされるようになることは、知識・情報基盤の強化やそれに基づくコミュニケーションの活発化が促されるなどガバナンス構造も変化させるであろう。

地球温暖化防止をものづくりや暮らしの新しい様式をつくり出す挑戦的課題として、さらにそのための仕事起こしや雇用を通じた地域経済の創造性や持続性を高める機会としていくことが求められている。地域から持続可能な社会を構築する取り組みに組み入れられたときにはじめて、地域における地球温暖化防止は急速に進展するであろう。

京都議定書発効一年に際して

～環境市民の今、そしてこれからの活動をお知らせします～

とれたて! 環境市民 ← スペシャル!



先進事例を映像化! 「映像版 日本の環境首都コンテスト先進事例集」を発行

環境市民が主幹事を務める環境首都コンテスト全国ネットワーク(全国11の環境NGOで構成)では、「日本の環境首都コンテスト」を2001年より毎年実施し、自治体の環境施策についてさまざまな角度から調査、政策提案を行っています。

このコンテストでは「先進事例集」を毎年発行しています。これは、コンテストから見てきた先進的な自治体の環境施策や個性溢れる取り組みをまとめたもので、自治体からは「施策立案に参考になる」と好評です。しかしどうしても文字で表現できるものには限界があり、事例のプロセスや関係者の生の声を伝えられる「映像」にできないかと考えていたところ、(財)ハイライフ研究所との協働で映像としてまとめることができました。

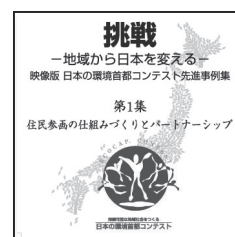
テーマは「住民参画の仕組みづくりとパートナーシップ」。取り上げたのは、徹底した情報公開で住民参画をすすめるまちセコ町、市民参画で「新しい公共」の創造を目的とした「協働事業提案制度」を持つ大和市、パートナ

シップで環境基本計画を推進する津山市、パートナーシップで環境のまちづくりをすすめる熊本市の4自治体。自治体職員や市民を取材し、約1時間のDVDにまとめました。DVDのタイトルは「挑戦 一地域から日本を変える」。この映像版事例集が自治体や市民に「わがまちでもできる!」と勇気を与え、持続可能な地域社会づくりの基礎となる先進事例がひろがっていくことを期待しています。この事例集は来年度も新たなテーマで制作する予定です。

(文/ニュースライター編集部 風岡 宗人)

※このDVDは主に環境首都コンテスト参加自治体に配布します。一般には配布しておりません。

DVDの表紙 →



全国初 山形県で環境マイスターを認定

環境市民は、内閣府から「平成17年度先駆的省資源・省エネルギー実践活動等推進事業」を受託し、山形県および和歌山県内の自動車販売店(山形県のみ)、家電販売店の販売員を対象に「環境マイスター」認定事業をすすめています。

「環境マイスター」とは、地球温暖化防止や省エネ、グリーン購入(グリーンコンシューマー)など環境についての総合的な知識や情報をもった販売員のこと。私たちが普段購入する物の中で、地球温暖化の大きな要因となっている自動車と家電製品。これらを買うとき、より環境負荷の少ない商品選びについてアドバイスが得られれば、省エネ製品の普及、ひいては省エネの推進になります。また売り手にとっても「環境マイスター」に認定されていることが社会的な評価を高めることになります。買い手にも売り手にも、環境にもメリットになる、まさにWinWinの仕組みをつくる事業です。

環境マイスターに認定されるためには2日間の研修を受講し、簡単な試験をクリアしなければなりません。山形で

は、県と地球温暖化防止活動推進センター、日本自動車販売協会連合会山形県支部が共同で研修の企画、運営を行いました。

昨年11月17日と12月15日、約40名の受講生が講義と実技を織り交ぜた研修を受講。長丁場にもかかわらず皆さん熱心に参加していました。最後の認定試験は比較的難易度の高いものでしたが、全員が合格。こうして全国で初めて環境マイスターが誕生しました。合格者には認定証とワッペンなどが渡されます。家電販売店対象の研修は両県にて現在進行中。3月末には事業が完結します。この事業がモデルとして全国にも広がるようがんばっています。

(文/ニュースライター編集部 風岡 宗人)



← 受講生で記念撮影



めざせ！ 環境 goo 大賞受賞 環境市民のウェブサイトを更新しました！



環境市民のウェブサイト運営する電子かわら版チームが同サイトの大幅リニューアルを行いました。これは「めざせ！ 環境 goo 大賞プロジェクト」として行ったもので、「より分かりやすく、役立つ、楽しい」サイトをつくり、環境 goo が主催する環境関連のサイトコンテスト「環境 goo 大賞」の大賞受賞を目指そうというプロジェクトです。^{※1}すでに応募をし、一次審査を通過、実際にサイトを見た人の投票結果を含む最終結果をメンバー一同ドキドキしながら待っているところです。

今回のリニューアルでは特に、「サイトの使いやすさ」、「環境市民の考えや活動をよりわかりやすく伝える」ための工夫をしました。例えば、バラエティに富んだコーナーを的確に見ていただくため、企業や学校関係者、ボランティアを希望する方を対象としたサイト案内をつくりました。ボランティア希望者案内であれば、活動一覧や自分に合った活動が見つかるページにご案内。見る人の気持ちにすぐに応えるサイトになりました。

さらに、環境市民のことがすぐわかる「環境市民って何？」のサイトには、「よくある質問」、そして全国で環境市民を支えている人たちを紹介した「ボランティア・会員の声」を掲載しました。読者参加のページの内容もさらに充実。^{※2}また、環境市民の使命やプロジェクト紹介も新しくなりました。

今回のリニューアルは数人で、「あーでもないこーでもない」と約8か月かけて作業を行いました。今後も、より多くの人の共感を得るサイトをつくり、さらに環境市民の活動を活発にしていきたいと思っています。みなさん、ぜひ環境市民のサイトを見て、ご意見ご感想を事務局までお寄せください。

※1 2004年度は奨励賞を受賞。

※2 ボランティアひろば <http://kankyoshimin.u-me.jp/>
(文/ニュースレター編集部 有川 真理子)

環境市民ウェブサイト <http://www.kankyoshimin.org>



ミーティング&イベントカレンダー

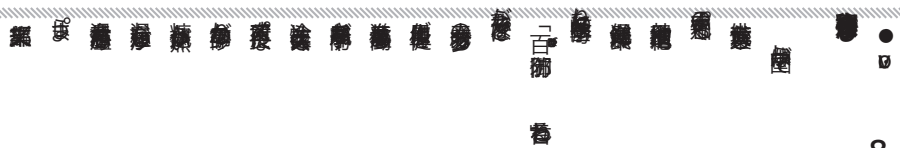
※特に時間の記載がないものは、午後7:00からです。
※グループ/プロジェクト名のみはミーティングです。

2月 '06

1日(水) 東海 環境市民 nagoya cafe 午後 1:00 から 3:00、午後 7:00 から 9:00	18日(土) 『だいすき京都 環境市民の遊びかた 暮しかた』 発売記念企画 「つくる 食べる 知る 考える」～地球と人と食べ物のいい関係 午後 1:30 から 4:30 (10P) 滋賀 水鳥観察会 (P11)
2日(木) 電子かわら版チーム	
4日(土) 東海 環境小市民 生涯学習講座 午前 10:00 から午後 2:00	21日(火) ニュースレター編集部 校正日 午後 5:00 から
7日(火) ニュースレター編集部 午後 6:30 から	22日(水) ニュースレター編集部 リニューアルミーティング 午後 6:30 から (10P)
8日(水) ニュースレター編集部 編集日 午後 6:30 から	24日(金) あけてびっく! SKIP たまたまばこ会 「心理学に学ぶ～自分らしく生きるヒントを見つけよう～」 午後 7:00 から 9:30 (10P)
12日(日) 京都自然めぐり 自然を通じて、子どもと遊べる大人になろう 午前 10:00 から午後 5:00 (10P)	26日(日) 東海 環境小市民 生涯学習講座 午前 10:00 から午後 1:00
15日(水) 自然住宅研究会 午後 5:00 から 7:00 首都コンチーム「わいわい Eco Cup」	27日(月) 子ども向け環境教育ウェブサイト 午後 7:00 から 9:00
17日(金) 東海 ぼっとらっくばーてい 午後 7:00 から 9:00	28日(火) ニュースレター発送日 午後 1:00 から

旬のメモ

あなたの心に季節の窓。
旬の話題と暮らし方のヒントを
お届けします。



全国に講演に出かけています。お近くに来た際にはご参加ください。

- 4日(土) 岡山県 地球温暖化防止活動推進員研修
- 12日(日) 福井市 環境パートナーシップ交流会
- 14日(火) 京丹後市「持続可能な豊かでエコロジカルな暮らし」
- 16日(木) 大阪市「環境を伝える」という仕事
- 21日(火) 野洲市「ドイツ地域社会の挑戦」

※ 一般参加はできませんが下記の講座にも講師を派遣しています。詳しくは京都事務局へお問合せください。

- 7日(火) 東京都 ドイツと日本の市民社会における環境対話
- 12日(日) 京都市 エコツーリズムシンポジウム
- 15日(水) 東京都 地球環境と資源エネルギーを大切に国民運動全国大会
- 20日(月) 福山市 生活学校「レジ袋の削減」



みんなで エコろう! 行事案内



お申し込み
問い合わせ

NPO 法人環境市民京都事務局

問合せ・申込み

環境市民

<http://www.kankyoshimin.org>

【TEL】 075-211-3521
【FAX】 075-211-3531
【IP電話】 050-3581-7492
【E-mail】 life@kankyoshimin.org

「京都自然めぐり 自然を通じて、 子どもと遊べる大人なろう」

最終回

野外遊びの専門家、昆虫・植物・鳥類などの専門家、子育てに造詣の深いおもちゃ屋さんらを講師に、京都周辺の自然を活用し、金やエネルギーを使わなくても、子どもたちと遊ぶことのできる大人を養成する講座です。

第10回 「1年のふりかえり 子どもと遊べる大人になろう」

第9回までの講座をふりかえり、参加者同士で遊びの技を披露します。今回初参加の人も大歓迎!

と き : 3月12日(日) 午前10:00から午後5:00
と ころ : 京都御苑(京都市上京区) 蛤御門付近
地下鉄烏丸線丸太町駅または今出川駅より
徒歩5分

講 師 : 世良 佑樹さん(環境共育フリーランス)
対 象 : 大人(高校生以上)

野外の遊びわざを修得したい人なら、
子どものいるいないを問いません。

参加費 : 会員 400円/一般 600円(いずれも保険代含む)
現地までの交通費は含みません。

集合場所 : 京都御苑 蛤御門

持ち物 : 筆記用具・雨具

(カイロなど防寒対策は各自お願いします)

服 装 : 動きやすい服装でお願いします。

定 員 : 25人

申込み : 必要。開催日の3日前まで。

備 考 : 小雨決行。荒天以外実施。中止の場合、
当日朝に申し込み者に連絡します。

企 画 : 環境市民こもれび倶楽部

共 催 : 環境市民、京エコロジーセンター

★こもれび倶楽部で共に活動してくれる仲間を募集中!

あけてびっくり! "SKIPたまたばこ会"第10回

「心理学に学ぶ~自分らしく生きるヒントをみつけよう!~」

毎月1回、環境共育チーム SKIPのメンバーが担当して実施している SKIP たまたばこ会。第10回のテーマは「心理学」。何だか難しそう? いえいえ実は、心理学は楽しみながら学べて、日常の中でも、心理学の知識があるとちょっと得するようなことがたくさんある

のです。今回は「心理テスト」を使って、自分らしく生きるヒントを一緒に見つけます! ぜひお気軽にご参加下さい。

と き : 2月24日(金) 午後7:00から9:30

と ころ : 環境市民京都事務局

講 師 : 奥田 綾子さん

(SKIPチームメンバー、臨床心理学を専攻する学生)

参加費 : あり(300円以下)

持ち物 : 筆記用具

定 員 : 10人(先着順)

企 画 : 環境共育チームSKIP

ニュースレター編集体制リニューアルミーティング

ニュースレター編集部では、もっとおもしろく、環境NGOならではの視点を伝えるため、編集体制のリニューアルミーティングを行います。環境市民の、そして自分自身の「環境を伝える」力を高めたい方、参加待ってます!

と き : 2月22日(水) 午後6:30から8:45まで

と ころ : 環境市民事務局

参加費 : 無料

申込み : 必要

備 考 : はじめての方には午後5:30から簡単な
説明会を行います。

企 画 : ニュースレター編集部

『だいすき京都 環境市民の遊びかた 暮らしかた』発売記念企画 「つくる 食べる 知る 考える」~地球と人と食べ物のいい関係

暮らしと環境問題のつながりに気づき、豊かな暮らしの考え方やその実践方法を、日々欠くことのできない「食」を通じて知り、考える3回連続の講座です。

第1回 白味噌づくりと大豆の話

京都の西の地域に伝わる白味噌を作ります。「味噌」や「大豆」という切り口から、私たちの食生活はどう見えてくるでしょうか。味噌料理の試食をしながら、話合います。

講 師 : 細井 さおりさん、山本 わかこさん
(いずれも環境市民会員)

と き : 2月18日(土) 午後1:30から4:30

と ころ : 京都市北青少年活動センター(京都市北区)

定 員 : 10人

参加費 : 学生・環境市民会員 1,000円(+材料費500円)
一般 1,500円(+材料費500円)

共 催 : (財)京都市ユースサービス協会
環境市民

備 考 : 味噌(各人300g程度)を持ち帰るための
容器をご用意ください。

第2回 3月5日(日) テーマは「魚」

講 師：カ石 幸さん(料理研究家)

第3回 3月18日(土) テーマは「野菜」

講 師：細井 さおりさん

持続可能で豊かな社会・生活を創るプロジェクト企画募集～思いを形に

2006年度環境市民が実施するプロジェクトの企画案を募集します。「こんなことやったら面白いだろうなあ」、「あんなことを発信したい!」など、皆さんにもきっといろいろな思いがあるはず。それをドーンと実行に移しましょう! 応募資格は環境市民の会員であること。最初は一人でも大丈夫、志のあるところに必ず人は集まります。「思いはあるけど、企画書の書き方がわからない」という方も遠慮なくご相談ください。企画案は、環境市民のビジョン、ミッション等に照らして内容を検討し、優れたものは環境市民のプロジェクトとしてバックアップ! あなたの夢と一緒に実現させます。持続可能な社会の実現のための第一歩を踏み出しませんか。応募者には内容を検討の上、後日こちらから連絡をさせていただきます。

締 切：2月28日(火)

提出先：プロジェクト向上委員会

応募資格：環境市民会員で最後まで責任を持ってプロジェクトを遂行できる方。

*プロジェクト向上委員会とは昨年9月、環境市民が実施するプロジェクトの質の向上等を目的として発足したグループです。

問合せ・申込み

環境市民・滋賀

【TEL】 077-522-5837
【E-mail】 cefshiga@kankyoshimin.org

冬季のびわ湖には冬鳥が飛来し、湖の北から南までの各湖岸で羽を休め採食をしています。今回は大津市生涯学習センターで水鳥の解説を聞き、その後、膳所公園付近で観察会を行います。

と き：2月18日(土) 午前9:30から12:00頃

と ころ：大津市膳所公園一帯

講 師：竺 文彦さん、他

参加費：無料

集合場所：大津市生涯学習センター(大津市科学館)
大津市本丸町9-50 TEL:077-522-1907
京阪電車膳所本町下車湖岸へ徒歩7、8分

持ち物：あれば双眼鏡

服 装：防寒用の服装

申込み：必要

備 考：小雨決行

問合せ・申込み

環境市民・東海

【TEL】 052-521-0095
【IP電話】 050-3604-6182
【E-mail】 tokai@kankyoshimin.org
http://www.kankyoshimin.org/tokai

環境市民 nagoya cafe

運営に関するミーティングをおこないます。昼下がりにお茶しながら、楽しいひとときを過ごしませんか? 今月は国内産の大豆を使った味噌づくり体験講座をおこないます。

と き：2月1日(水)

午後1:00から3:00

午後7:00から9:00

と ころ：環境市民・東海 事務局

申込み：味噌づくり希望者は昼・夜いずれか

環境小市民 生涯学習講座

環境と衣食住をマジメに楽しく学習する講座です。どなたでも参加できます。地産地消していますか? 水と米のお酒づくりを学習します。

●八丁味噌蔵見学後、うなぎを堪能して造り酒屋の蔵開きに参加します。

と き：2月4日(土) 午前10:00から午後2:00

と ころ：岡崎市

参加費：500円

集合場所：名鉄岡崎公園前駅

定 員：10人

締 切：定員に達し次第、締切

●造り酒屋を三軒ハシゴして試飲三昧と、城跡見学をします。

と き：2月26日(日) 午前10:00から午後1:00

と ころ：名古屋市緑区

参加費：500円

集合場所：JR大高駅

定 員：10人

締 切：定員に達し次第、締切

●3月のテーマ(予定)

※熱田の森・きしめん・七里の渡し(東海道五十三次のコース)

「ぼっとらっくばーてい」

週末にマイカップと一品を持ち寄り、楽しいひと時を過ごします。会員の方は是非お友だち(まだ会員でない方)と、一緒にご参加ください。

と き：2月17日(金) 午後7:00から9:00

と ころ：環境市民・東海 事務局

参加費：無料

地球の なかま

地球に暮らす生き物との出会い
センスオブワンダーで心豊かに

センスオブワンダー...
アメリカの作家であり、海洋生物学者でもあったレイチェル・カーソンが、
著書「センス・オブ・ワンダー」の中で伝えた自然を感じる感性

第8回 私たちの周りの身近な菌たち

文／ニューズレター編集部 千葉 有紀子 イラスト／SKIP チーム 川島 奈美

細菌 藻類 菌類 動物 植物



乳酸菌いろいろ

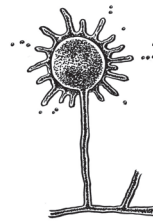
● 乳酸菌って何？

細菌 藻類 菌類 動物 植物

● 地球は菌の王国

細菌 藻類 菌類 動物 植物

● 麹菌って何？



麹菌

細菌 藻類 菌類 動物 植物

細菌 藻類 菌類 動物 植物

● 菌との共生



麹菌

藻類

ミュンスター便り

～ 環境首都の現場から ～

BY AIR MAIL

温暖化防止の軸 省エネ建築物の促進

文 / 近江 まどか

ドイツの冬は長い。9月の終わり頃から少しずつ寒くなり始め4月まで続く。この間は、暖房に頼った生活になる。エネルギー料金は確実に値上がりしており、暖房費をいかに安く抑えることができるかということに、関心を持つ人は多い。

ドイツ全体では、CO₂排出量の約3分の1が室内暖房や温水利用に起因とされている。それゆえに、建築物の省エネルギー改修事業や低エネルギー住宅などの建設の推進が地球温暖化防止対策の大きな柱となっている。ミュンスターでは、市内の建築物の70%以上が1980年以前に建築されており、これらの建築物におけるエネルギー需要とCO₂排出量が相対的に高いことから、市は、古い建築物の省エネルギーを目的とした改修に対し独自の補助金制度を設け、市民に改修を働きかけている。1995年には、古い建築物の省エネルギー改修を首尾一貫して実施することより、市内におけるCO₂排出量は6%、削減できると試算されている。

●省エネルギー率を高めるほどお得な補助金制度

ミュンスター市で、1997年から2004年末まで実施された省エネルギー改修に対する補助金制度は、年間1億円前後の予算が組まれており、改修前と比較した建築物の省エネルギー率を高めるほど、補助金額が高くなる仕組みとなっている(約350万円を上限とする。参照図1)。

【図1】

改修前と比較した省エネルギー率/改修に対する補助金率

省エネルギー率	補助金率
10%以下	5%
10～30%	10%
30%以上	15%

補助金を受ける条件として、1980年以前に建設されたものであることや150m²以下の住居であることに加え、市に認定されたエネルギー診断員による熱消費診断「熱パス」が必要とされた。これは、建築物の壁、窓、屋根、床などの各要素に関する素材や厚さなどの技術情報、これらの要素の現状のエネルギー消費量・CO₂排出量などの診断、対策の推奨などが含まれている。更に、診断を受けた建築物を、6つの建築年代に分け、最も良い診断結果であった建築物を選び表彰する「熱保護オスカー賞」が毎年実施され、選出された建築物には「緑の番地プレート」を授与するといったイベントも開催されている。(参照写真1)

ミュンスターでは、1997年から2004年末まで、この制度を利用し、1020の建築物が改修された。補助金総額は約6

億5000万円、改修全体への投資額は約47億円となり、450人分の雇用が創出され、8000tのCO₂が削減されたという結果が出ている。2005年以降は、補助金制度の仕組みが一押し、熱の通りやすさを示す熱貫流値の基準を満たした取り組みのみ一定額の補助金が出されるようになった。(参照写真2)

【写真1】緑の番地プレート。20は番地。下に「House of the Year 1998。カテゴリー：1918年以前の建築物。」このようなコンテストは、市民のモチベーションを高めることを目的に実施している。(提供：ミュンスター市)



【写真2】市の補助金により省エネルギー改修中の建築物に掲げられた垂れ幕。「古い建築物を改修し、CO₂を削減し、エネルギー消費を減らそう!」と書かれている。(提供：ミュンスター市)

●エネルギー消費量を示した建築物ラベルリング「エネルギーパス」が開始

EUの「建築物における総合エネルギー効率に関する指令」によって、今年から、ヨーロッパ各国の各建築物の所有者は、エネルギー消費量等を示したエネルギーパス【参照写真3】を住宅の購買や賃貸契約の際に提示することが必要となる。ドイツ国内では、ミュンスターの「熱パス」のように、既にいくつかの地方自治体で、住宅のエネルギー消費量を、自主的なレベルで、住民が知ることができる仕組みが作られてきた。一方、このエネルギーパスは、EU指令に基づき、ドイツ国内共通の仕組みによって、全国で一斉に導入される。これにより、ドイツにおける住宅選びは、新たなステージに入ったと言えるであろう。

【写真3】エネルギーパス

建築物に関する情報の他に、エネルギー需要のレベルや年間の暖房需要量、最終エネルギー消費量、CO₂排出量などが明記される。(提供：ドイツエネルギーエージェンシー)



■プロフィール 近江 まどか …… 会員。堺市出身。環境をテーマにした視察・ツアーのコーディネーター兼通訳。環境首都ミュンスターでは、地球温暖化対策や自転車政策、環境教育などをテーマにした視察プログラムを実施中。
【ドイツ環境ジャーナル <http://blog.goo.ne.jp/madokuccia/>】

みんな集まれ！ わしっわしっ ひろば

2月のテーマ：

あなたのまちのお雑煮

みなさん、お正月はゆつくり過ごせましたか？

いろ～んなお雑煮情報が集まりました。いつかは食べたい想像上の
お雑煮も。どんなお雑煮が想像しながら読んでみてね。

イラスト/山形 七日

あなたと
つくる
ページです



京都

我が家のお雑煮は、おばあちゃんの畑からとれた白菜、大根などの野菜を中心に作られます♪ おもちもかつては親戚がついてくれたものをいただいていたのですが、今は市販のものを使っています。何をいれるという決まり事はないのですが、昔からのトレーサビリティばっちりの食材と母の味はおせちより贅沢です（笑）。

(P.N.) 雪ん子



京都&九州

母は京都。白みそのお汁にお餅のみです。父は九州。野菜の具がいっぱいのすまし汁。1月3日に食べます。父はよく京都のお雑煮を「こんなのはお雑煮じゃない!」と言ってたっけ……。

(P.N.) ポンママ



岡山

岡山県津山市の一部地域のお雑煮は、するめ・昆布・煮干を水につけ、一晚置いてだしをとります。丸餅にすまし汁で、具は、ネギ、ほうれん草などの青菜に、あれば芹をのせてシンプルに。だしをとった後のするめは、細くさいてから火であぶっておつまみに。

(P.N.) かなぶん



玄米で……

どんなお雑煮ということでないのですが、玄米っ子の私は、お餅も玄米のもち米から作られる玄米餅を頂きます。本当にとってもおいしくてヤミツキです。自然食品店で、茶色い色をして売っています。お米の玄米が苦手という方もおいしく食べられるはず。

(P.N.) 玄米っ子



奈良

奈良県五條市にある実家の雑煮は白みそ仕立て。具は大根・にんじん・ごぼう・小芋・かまぼこです。丸もちを焼かずにそのまま入れます。もちは、椀から取り出して、きな粉をつけて食します。大概の人に「ウェー!」と言われて、それが普通でないことがわかったのですが、父親によると、うちだけではないとのこと。地域性なのか好みなのか、わかりません。調査してみたいと思います。ちなみに、うちでは雑煮をつくるのは父親の仕事です。(P.N.) でも、おいしいのよ!



博多

博多の実家のお雑煮には焼いたブリ、人参、カツオ菜、丸餅が入っています。だしはあごだし（トビウオ）。カツオ菜は濃いみどり色をした白菜のような野菜。味がしっかりしていておいしいですよ。実家を出るまではどこにでもあるものと思いましたが、地域限定の野菜のようです。海や山、畑の特産品が入ったお雑煮は、それぞれの場所が今年一年安定していたことを意味するわけですから、環境面でみても地域ならではの雑煮が毎年食べられるというのは大事なことです。 (P.N.) まりそう



尾張地方

尾張地方のお雑煮は、かつおだしに醤油で味付けしたお澄ましです。そこに四角いお餅ともち菜（小松菜に似た葉野菜）を入れてできあがり。実家では食べる前に削ったかつお節を好きなだけ振りかけて食べます。華やかなイメージのある名古屋にして意外に質素だなと思われるかもしれません。 (P.N.) 京都に来て10年目。



まごがれの……

うちの家族はお餅大好き。15年くらい前までは、^{かまど}竈で蒸した餅米で木製の臼と杵を使ってお餅をついていました。でも今は二人暮らしなので市販のお餅でふつうのお雑煮……。いつか、金箔入りのカマボコ、有機栽培米で作ったお餅、有機栽培米・無添加の白みそお雑煮を食べてみたい!

(P.N.) アナスタシア

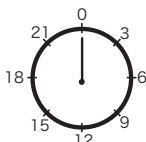
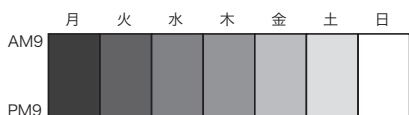


4月号のテーマは、

「あなたのボランティア・スタイル」です。

募集中

4月は新年度の始まり。就職や入学、退職などでこれからボランティア活動でも始めようという方も多いのでは？ そんな方々の参考になればということで「あなたのボランティア・スタイル」を募集します。ボランティア活動歴うん十年の達人からはじめたばかりの初心者まで、1週間単位でのボランティア活動日、ボランティア活動日の時間割、ボランティア活動への思いなどドシドシお寄せください!



ニュースレター編集部まで、メールかFAX、郵送でお送りください

《《《 締め切り：2月28日(火) 必着 》》》

● E-mail ●
newsletter@kankyoshimin.org

● FAX ●
075-211-3531

〒604-0932 京都市中京区寺町通二条下ル 呉波ビル3階
NPO 法人環境市民 みどりのニュースレター編集部 宛

環境市民のウェブサイトからも投稿できるようになりました!

●環境市民ウェブサイト URL <http://www.kankyoshimin.org>
《トップページ》→《ボランティアひろば》→《掲示板一覧の「みんな集まれわいわいひろば」》と順にクリックしてください。



編集

安
晃



京

だ
要

編
集

編
集

港

編
集

1
編

迷
津
通
道
編
集
地
理
学
の
こ
の
こ
ろ
だ
ら
ま
編
集

奥

亀



右が亀井泰裕さん。左の方は奥様です。

編集後記

【編集部】(五十音順)
有川 真理子 飯田 康道 上松 健太郎
風岡 宗人 千葉 有紀子 鈴木 郁
松村 知樹 安江 晃子 山形 七日
山田 岳 下司 智子 (デザイン・レイアウト)

【お知らせ】
1月号 (No.152) の12頁の写真は枚本育生氏の撮影です。また、13頁「青き星 碧い風」の3段落目の右から15行目「5%を達成しなければ」は「75%を達成しなければ」の誤りです。

編集を終えて……
ちょうどこのニュースレターを作成しているときに「だいすき京都 環境市民の遊びかた 暮らしかた」が製本されて届きました。多くの人に関わり、待ち望んでいた本だけあって、思わずみんな拍手。内容の深さ、伝えたい思いに、「これぞ京都本！」といたくことになること間違いなし。ぜひ皆さんもご購入を！
(編集部 有川 真理子)

次号予告
みどりの
ニュースレター
No.154
2006年
3月号
現在
編集中!

特集:子どもと大人の遊びを変えたい!
こもれび倶楽部がそんな思いを形にした、1年にわたる連続講座「京都自然めぐり 子どもと遊べる大人になろう」をクローズアップします!

今月のありがとう!

目立たないところでも、
お力を貸してくださった方々に、
感謝をこめて。

1月号ニュースレターの発送

荒川 萌 / 大塚 千夏 / 下司 智子 / 坂本 皆子
鈴木 郁 / 羽野 和幸 / 村中 梨砂 / 山形 七日

大掃除

今村 弘道 / 久保 浩 / 左賀 秀樹

お菓子の差入れ

風岡 宗人 / 左賀 秀樹 / 羽野 和幸
南村 知佐恵 / 村中 梨砂 / 山形 七日

《五十音順・敬称略》

ご協力、ありがとうございました!

新会員の方々

12月8日から1月16日

荒木 正信 安江 晃子
往西 浩司 吉田 肇
辻 正三 (五十音順、敬称略)
前田 裕道
三上 圭一

寄付

12月8日から1月16日

伊藤 益義 枚本 育生 吉川 猛
井口 晃子 枚本 啓子 (五十音順、敬称略)
風岡 宗人 平岡 義和
下村 委津子 堀 孝弘
菅沼 章 南村 多津恵

ありがとう
ございました!

新入会員 * INTER VIEW

■安江 晃子さん (1月11日入会)

大学のボランティアセンター
でインターンシッププログラムを知
り、環境市民を紹介され、ニュースレター編
集部に参加。「昨年の協働コーディネーター養
成講座は勉強になりました。ニュースレター
発送日は皆と作業をしながら環境について面
白い話が聞けて一番楽しい!」

環境市民に入会しよう!

環境市民は、多くのボランティアと会員の皆さんの参加によって支えられています。
「持続可能で豊かな社会づくり」のために、ぜひ会員になって環境市民の活動を応援してください!

■ 会員特典

- 月刊会報誌「みどりのニュースレター」をお届けいたします。
- 行事などの参加費を割引させていただきます。
- 会員専用ブログ「ボランティア広場」への参加ができます。
- 環境に関する様々な情報を得たり、また質問や相談ができます。

■ 会費の振込み方法

- (1) 郵便振替の振込用紙に、住所・氏名・電話番号・会員の種類・
送金内容事項をご記入の上、「年会費+入会金」をご入金ください。
(※シニア・学生・助成・特別助成会員は入会金不要)
- (2) ご入金を確認後、最新のニュースレターと会員バッジ、入会記念と
してポストカードをお届けします。

会費

種別	年会費	入会金
個人会員	4,000円	1,000円
ペア会員	6,000円	2,000円
シニア・学生会員	3,000円	—
ファミリー会員	8,000円	2,000円
助成会員	10,000円	—
特別助成会員	50,000円	—
終身会員	一括 80,000円	—
営利法人会員*	1口 50,000円	50,000円
非営利法人会員*	1口 10,000円	2,000円

*年会費は一口以上

~あなたのご協力が環境市民を支えます~

♥ 寄付をする... 住所・氏名・電話番号・寄付金額をご明記の上、下記の振込先へお振り込みください。

会費・寄付のお振込み先 【郵便振替】口座番号：01020-7-76578 加入者名：環境市民

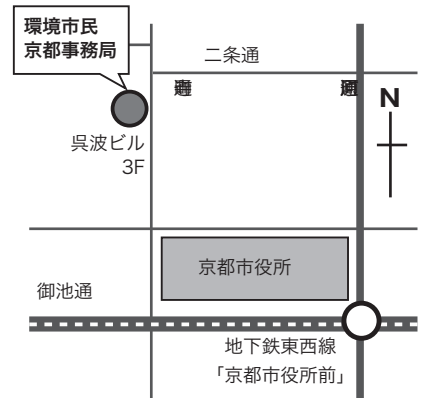
(発行) 特定非営利活動法人 環境市民 (代表) 塚本 圭一・枚本 育生 (発行人) 堀 孝弘
【TEL】075-211-3521 【IP 電話】050-3581-7492 【FAX】075-211-3531
【E-mail】life@kankyoshimin.org 【URL】http://www.kankyoshimin.org
〒604-0932 京都市中京区寺町通二条下ル吳波ビル3階 (月から金 午前10:00から午後6:00)

環境市民・東海

【TEL&FAX】052-521-0095 【IP 電話】050-3604-6182
【E-mail】tokai@kankyoshimin.org 【URL】http://www.kankyoshimin.org/tokai/
〒451-0062 愛知県名古屋市中区花の木1丁目12-12 花の木 AOIビル4階

環境市民・滋賀

【TEL】077-522-5837 【E-mail】cefshiga@kankyoshimin.org
〒520-0046 滋賀県大津市長等2丁目9-12 笠文彦気付



本誌の無断複写・複製・転載を
禁じます。

「環境市民」
登録商標 第4809505号

この印刷物は風力発電による自然エネルギーを使用して
古紙配合率100%再生紙に、大豆油インキで印刷しました。

印刷：(有) 祉書房



環境市民

Citizens Environmental Foundation

21世紀
地球を、地域を、生活を、
持続可能な豊かさに

